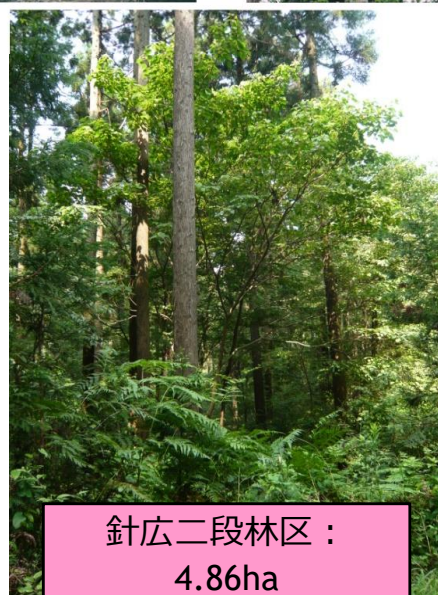
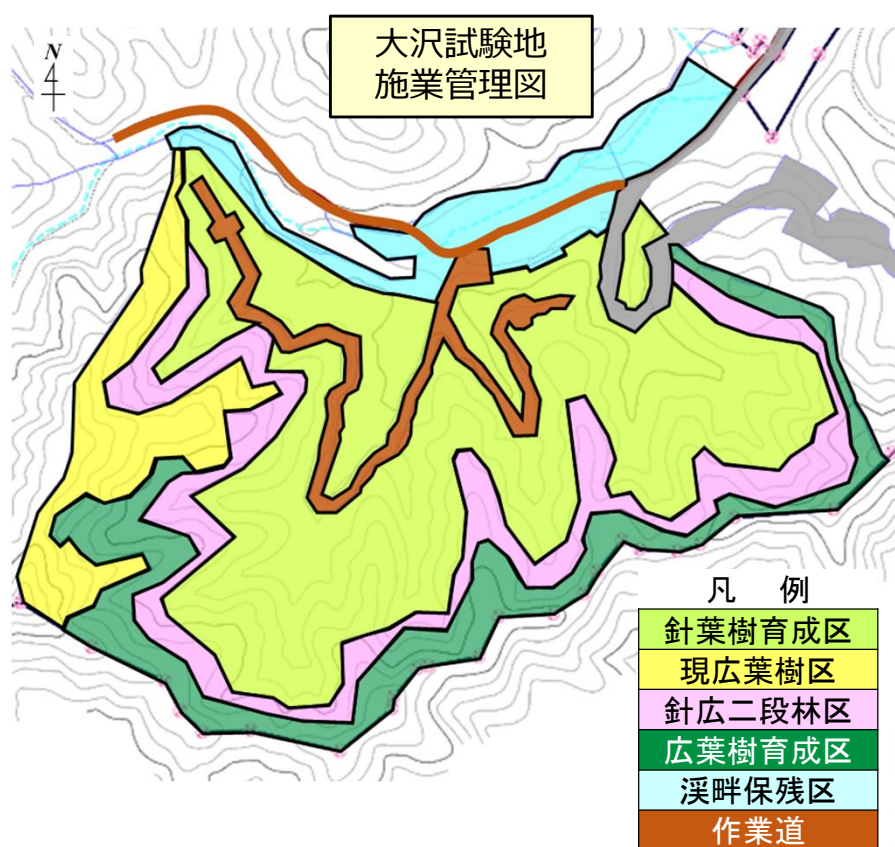




森林生態学的機能に配慮した 施業区分と森林管理技術のモデル試験

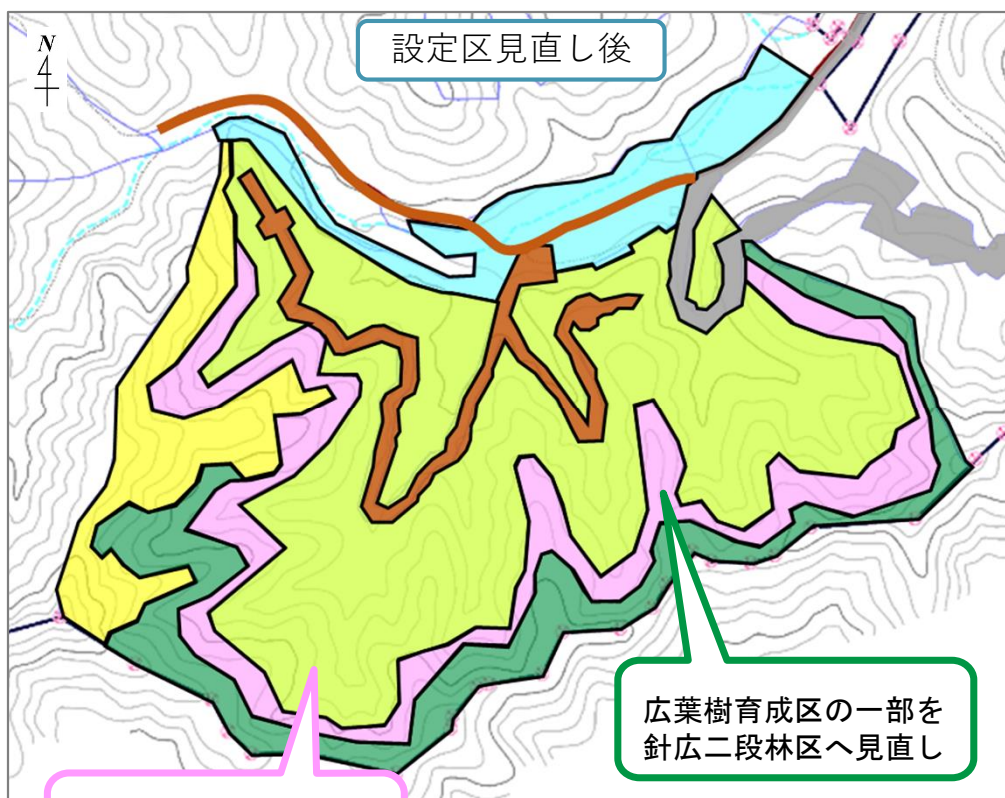
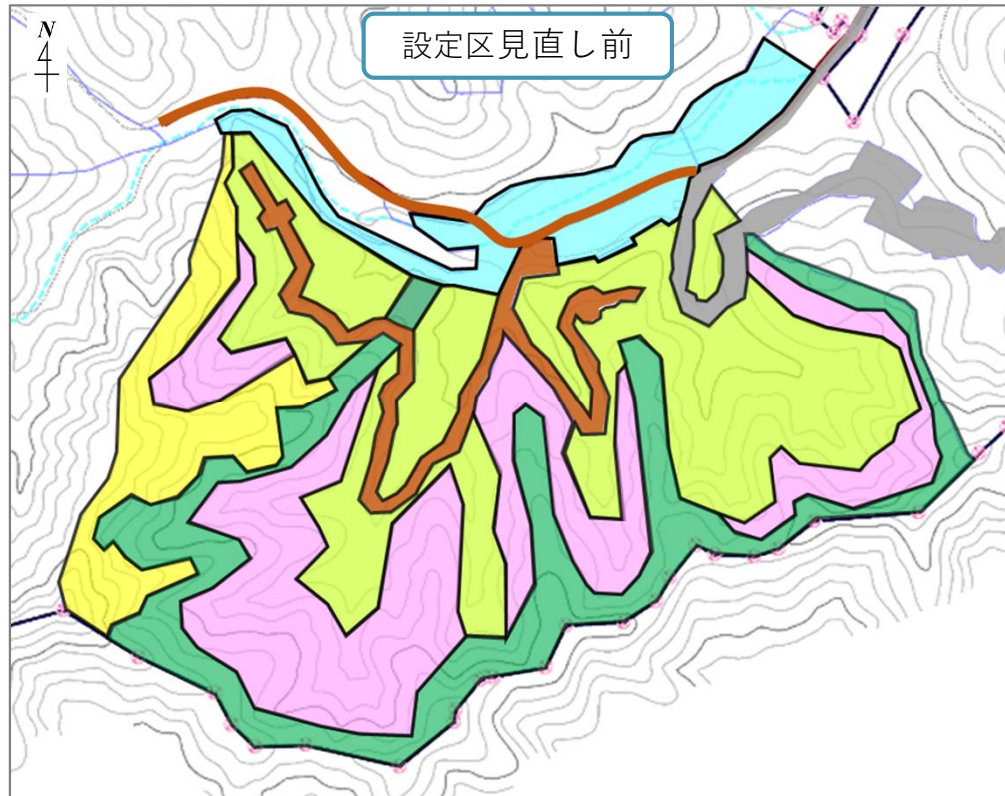
7 大沢

- 場所：茨城森林管理署管内 【大沢施業指標林試験地：約21ha】
東茨城郡城里町大字下赤沢字 大沢国有林258ろ2林小班 外
- 期間：平成26年度～令和54年度
- 共同開発機関：森林総合研究所
- 概要：現在の針葉樹一斉人工林に適度に広葉樹を導入配置して、林分内容の多様化を図り、長伐期化に伴う木材生産機能と公益的機能のバランスのとれた効率的な森林づくりを実践し、施業指標林とするとともに森林管理手法を見いだす。
試験地設定年度：1996(H8)年度
植栽年度：1952(S27)年度



施業管理区域の見直し

平成25年度に多面的機能（木材生産機能と公益的機能）を高度に発揮する効率的な施業を実施するため、森林踏査の結果にもとづいて施業管理区域の見直しを行いました。



●尾根部ヒノキの成長は他の箇所と比較すると劣っているものの、針広二段林区と針葉樹育成区では成長差が見受けられない箇所もあったので、針広二段林区の一部について針葉樹育成区への見直しを検討。

凡 例

	針葉樹育成区
	現広葉樹区
	針広二段林区
	広葉樹育成区
	溪畔保残区
	作業道

●針広二段林区については、針葉樹育成区との成長差がなく、搬出も容易な箇所を針葉樹育成区とした。

●小尾根部ヒノキの成長は悪くないが、搬出条件から、一部について広葉樹育成区から針広二段林区とした。